

地域振興会議 第8回南ブロック合同会議 議事録概要

日 時 令和4年11月29日(火)
時 間 午後2時～午後4時
場 所 用瀬保健センター 大集会室

<河原地域>

〔出席委員〕

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、西尾敦委員、谷山吉雄委員、林昭男委員、坂本綾子委員
下田和実委員、以上7名

〔事務局〕

九鬼支所長、武田副支所長、吉田地域振興課長補佐

<佐治地域>

〔出席委員〕

小谷繁喜会長、下石聡子副会長、西尾寛茂委員、谷口輝男委員、岡村裕司委員、西尾正道委員
無替幸夫委員 以上7名

〔事務局〕

下田支所長、下石副支所長、倉持地域振興課長補佐

<用瀬地域>

〔出席委員〕

西川功美会長、平井育子副会長、西村正雄委員、岸本仁志委員、山下和彦委員、前田勝美委員
八百谷和子委員、竹本真奈美委員、入江真知子委員、福山裕正委員、西村勝委員 以上11名

〔事務局〕

片山支所長、岡本副支所長、坂本産業建設課長、遠藤地域振興課長補佐

〔出席議員〕

山田延孝市議会議員、西村紳一郎市議会議員

〔用瀬町の地域おこしの取組発表者〕

元地域おこし協力隊 榎川友美
株式会社 週末住人 共同代表 深沢あゆみ

〔鳥取市都市整備部建築指導課〕

小林係長、近藤主任

〔鳥取市市民生活部地域振興課〕

岡墻主任

〔傍聴者〕

3名

〔会議次第〕

- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 各地域の自己紹介
 - 4 議題・取組の紹介等
 - (1) 空き家について
 - ①本市の空き家の現状・課題について
 - ②空き家に対する本市の取組・制度について
 - (2) 移住施策における空き家の利活用について
 - (3) 用瀬町の地域おこしの取組
 - 5 意見交換
 - 6 閉 会
-

3 議題・取組の紹介

(1) 空き家について・・・【資料1】(建築指導課)

- ①本市の空き家の現状・課題について
- ②空き家に対する本市の取組・制度について

～資料1に基づき説明～

(委 員)

私の住んでいる集落にも空き家が数件ある。市にも相談しているが、その中で崩れてきている家があり困っている。

(建築指導課)

空き家は財産であるので、所有者がはっきりしている場合は所有者の方に動いていただくよう、その都度指導しており、今後も支所と協力しながら対応していきます。

(委 員)

河原町の工業団地は、ほぼ埋まってきている。そこで働いている方は、大半が鳥取市内や近隣の町から通勤していると思うが、本社が県外にある企業の中には、ホテルや長期的に泊まれる宿を借りている方がいるようだ。

そういうことも含めて企業の方には、長期滞在されるなら空き家対策の一つとして河原・用瀬・佐治にはこういう良い空き家があると宣伝をして、移住・定住につながっていくような施策はとれないか。

また、解体の補助金について、補助率が2分の1、上限60万円となっている。この金額では解体できないと思うが、根拠は何か。

(建築指導課)

補助金は当初、2分の1の30万円が上限でしたが、令和2年に見直しを行いました。根拠としては、鳥取県内に2分の1上限60万円という自治体が多かったこと、これまでの解体の費用の平

均は、だいたい120~130万円くらいだったため、その2分の1程度が妥当ではないかとの考えです。

また、他市が補助金の上限を引き上げた年でも、特定空家等の解体数は変わらなかったということがありました。空き家の解体は、金額だけの問題ではなく、相続などの原因も大きいと思われます。

(委員)

資料3ページのランクA、すぐにも住める状態の空き家は、鳥取市内に2つある大学の学生がシェアして住むような使い方をすればどうか。

(建築指導課)

ランクは外観目視での判断です。所有者が貸し出しを希望されるかどうか調査が必要ではありませんが、修繕すれば使用できるものも含めて、活用につなげていきたいと考えています。

(委員)

古民家再生に関わったことがある。解体の際に様々なところからボランティアが来てくれ、内装も楽しみながらやった。空き家活用には、そういうボランティアを募る手法も使ってはどうか。

(建築指導課)

実際に地域で所有者とのマッチングを請け負い、空き家の解消を進めているところもあります。今後も利活用については、担当課と一緒に進めていきます。

(2) 移住施策における空き家の利活用について・・・【資料2】(地域振興課)

～資料2に基づき説明～

(委員)

県外からの移住施策の話伺ったが、私の住んでいる地区は県外からではなく、近隣の奥部から新しく家を建てて移住される方が多く、流出の堰止めのようになっている。

今、空き家を中心とした取組の説明を受けた。それも大事だが、新しい世代の方のほとんどが、古い家よりも新しい家を求めるニーズが多い中で、行政に対しては、上下水道、道路、農地転用とその環境整備にも光を当てて、人口が旧市街地へ流れていくのを地域の中で止めるような施策にも光を向けてもらいたい。

(地域振興課)

他地域からも同様のご意見をいただいております。大切な支援だと考えています。ご意見として受け止めさせていただき、共有させていただきます。

(3) 用瀬町の地域おこしの取組

①元地域おこし協力隊 榎川友美

地域おこし協力隊として、流しびなの伝統継承と恋びな(毛糸で作る流しびな)ワークショップの取組について紹介。

②株式会社 週末住人 共同代表 深沢あゆみ・・・【資料3】

Z世代の関係人口＝仲間を増やし、ワクワクとビジネスを両立するチャレンジについて紹介。

5 意見交換等

特になし

6 閉会